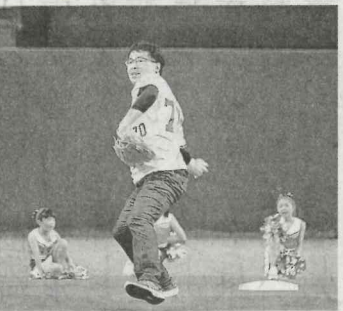




個別指導キャンパス 福盛代表が始球式 京セラドームオリックス戦

個別指導キャンパスの塾名で全国約300校を展開する新教育総合研究会（北区・福盛訓之代表）は京セラドーム大阪（西区千代崎3丁目）であったプロ野球オリックス―西武戦のマスケット始球式を行った。スタジアムDJの「ナイスピッチング」のアナウンスに約3万人の観客から大きな拍手と声援が送られた。



「ナイスピッチング」のアナウンスに観客から大きな拍手と声援が送られた
福盛代表

同研究会は8月2、3、4、23、24、25の各日に開催されるオリックス・バファローズの夏の恒例イベントに特別協賛し「Bs夏の陣2019 supported by 個別指導キャンパス」として開催されている。個別指導キャンパスでは継続的に一流や本物を見せ、触れてもらうことで勉強だけでない、何かの個性、才能を開花させる一助になればとの思いから、今回は約200人の子どもを試合に無料招待した。

個別指導キャンパスは塾検索サイト利用者数ナンバーワンの「塾ナビ」で府内での個別指導塾ランキング（小、中、高校生部門）で第1位。福盛代表は「始球式は通算18回目になります。が、何回やっても感動と感激で言葉になりません。バファローズの成績も『右肩アガリ』になるように願っています」と語った。

（上部武宏）